

サステナビリティ方針業績評価指標 (Sustainability Direction Performance Indicators; SDPIs)

アンメットメディカルニーズの高い疾患の治療のための新しい治療法やモダリティの創出

アステラスは、アンメットメディカルニーズに応えた治療法やモダリティを創出し、世界の患者さんや介護者の生活を改善する優れたアウトカムをもたらすソリューションを提供することで、ヘルスケアシステム全体の負担軽減に貢献します。

	単位	2023 年度	2024 年度	2025 年度
PoC ^{*1} を取得したプロジェクト数	プロジェクト	0	1	3
IND ^{*2} を取得したプロジェクトの数	プロジェクト	4	1	4
新規に上市した製品数	製品 (2023 年度からの累計)	5(New: VEOZAH, IZERVAY, VYLOY Additional Indication: XTANDI (M0 CSPC), PADCEV (1L mUC))	5	5
ブレイクスルーセラピー ^{*3} 指定、ファスト・トラック ^{*4} 指定、PRIME ^{*5} 指定、優先審査 ^{*6} 指定、先駆け審査 ^{*7} 指定のいずれかに該当するプロジェクト数	件	3	3	4
Rx+新規プログラム数	プログラム	1	1	0

*1 PoC：Proof of Concept／コンセプト検証（後期開発への進展の是非を判断するために臨床試験データで効果を確認すること）

*2 IND：Investigational New Drug／新薬の臨床試験開始

*3 ブレイクスルーセラピー：重篤なあるいは命にかかわる疾患に関する薬剤の開発および審査の促進を目的としたアメリカ食品医薬品（FDA）の制度

*4 ファスト・トラック：完治が難しい疾患に対し、高い治療効果が期待できそうな新薬を優先的に審査するアメリカ食品医薬品（FDA）の制度

*5 PRIME：Priority Medicines／欧州医薬品庁（EMA）が実施している、アンメットメディカルニーズを対象とする医薬品の開発支援を強化する制度

*6 優先審査：希少疾病用医薬品の指定を受けた医薬品の他、一定の要件に該当する医薬品について優先的に審査する制度

*7 先駆け審査：有効な治療法がなく命に関わる疾患に対し、革新的医薬品等を世界に先駆けて日本発で早期に実用化するために国内での開発を促進する日本の制度

アステラスが創出するイノベーションへのアクセス最大化と患者さんのアウトカム向上

保健医療へのアクセスは、社会とアステラス双方にとっての最重要課題のひとつです。より多くの患者さんにアステラス製品へのアクセスを提供すること、疾病の認識、予防、ヘルスケアサービスへのアクセスを改善することにより、2025 年までに 3,600 万人以上（累計）にインパクトをもたらします。

	単位	2023 年度	2024 年度	2025 年度
アステラスのコアビジネス(Rx, Rx+)				
アステラス製品 ^{*8} を処方された累計患者数	人 (1994 年からの累計)	1 億 5,950 万以上	1 億 7,400 万以上	1 億 8,390 万以上
アステラス製品を届けた国の数	カ国	103	103	103
Rx+事業で製品化されたプログラム数	プログラム	0	1	1
アステラス製品の入手可能性の向上				
多様な医薬品アクセスプログラム ^{*9} を通じて治療を受けた患者数	人 (累計)	2,055 以上	約 11,000	約 15,800
多様な医薬品アクセスプログラムの実施国数	カ国	61 以上	58	82
アステラス製品が販売されていない国 ^{*10} の患者さんに、パートナーとともにアステラス製品へのアクセスを提供した人数	人 (2023 年度からの累計)	100	200 以上	200 以上
外部パートナーが実施する保健医療へのアクセス向上に向けた活動の協働・支援				
アステラスが支援する保健医療へのアクセス向上のプログラムにより影響を受けた人数 (2021 年度からの累計)	人 (2024 年 3 月時点)	約 31,500	約 228,000	約 909,000+
アステラス・グローバルヘルス財団による保健医療へのアクセス向上のプログラムにより影響を受けた人数	人 (2018 年度からの累計)	3,140 万以上	3,190 万以上	3,330 万以上
アステラス・グローバルヘルス財団の助成金額	百万 US ドル (2018 年度からの累計)	13.3 以上	13.3 以上	15.5
パートナーと協力し保健医療へのアクセス課題に取り組む研究開発活動の件数	件	4	3	3

^{*8} ハルナール、ベシケア、ミラベグロン、プログラフ、XTANDI、XOSPATA、EVRENZO、PADCEV

^{*9} 詳細は以下のウェブサイトをご参照ください

[アステラス製品の入手可能性の向上](#)

^{*10} 詳細は以下のウェブサイトをご参照ください

[タンザニアでの取り組み](#) | [アステラス製薬](#)

価値に基づく価格設定をアドボケートし、持続可能なヘルスケアシステムの維持へ貢献

アステラスは、価値に基づく価格設定をアドボケートし、持続可能なヘルスケアシステムの維持へ貢献します。

	単位	2023 年度	2024 年度	2025 年度
価値に基づく価格設定（グローバルでの活動）				
価値、アフォーダビリティ、アクセスの課題に対応するため、価値に基づく革新的な価格設定ソリューションが導入された数	件 (2023 年度からの累計)	5	5	5
価値に基づく革新的な価格設定方法によって製品が発売された国の数（累計）	カ国	2	2	2
価値に基づく革新的な価格設定方法を採用している製品／ブランドの数	-	2	2	2
価値に基づく価格設定（日本国内における活動）				
経団連 ^{*11} の活動を通じ、価値に基づく価格設定に関して勉強会やイベントでの講演・発表を実施した数	件	3	6	3
価値に基づく価格設定を内容に含む一般市民向けアドボカシー活動の数	件	8	14	11

*11 [一般社団法人日本経済団体連合会](#)

イノベーション創出を促す人材と組織文化の醸成

アステラスは、イノベーションを実現するための確かなケイパビリティを持つ人材の確保とイノベーションを促進する組織文化を醸成します。

	単位	2023 年度	2024 年度	2025 年度
サステナビリティ関連イベント実施後にメディアで報道された件数	件	8	7	6
社長からの 6 階層以下の組織の割合	%	83	79	71
全組織のスパン・オブ・コントロール ^{*12} の平均値	-	5.9	6	6
社内表彰制度の従業員の利用率	%	87	92	94
社内表彰制度により表彰を受けた従業員の割合	%	76	88	85
社内表彰制度の従業員の満足度	%	今後測定予定	今後測定予定	今後測定予定
エンゲージメントスコア	-	71	69	73

*12 スパン・オブ・コントロール: マネジャー1 人が管理する部下の人数

強靱で持続可能なビジネス基盤の構築

アステラスは、予測不能な事態や緊急事態が生じた場合でも、安全で有効な医薬品を確実に製造し安定的に供給することは極めて重要だと認識しています。製造サプライチェーンやエネルギー調達への事前対策やサステナビリティの観点を盛り込んだサプライヤーの選定を行い、より持続可能で柔軟なバリューチェーンを構築します。

	単位	2023 年度	2024 年度	2025 年度上期
サプライチェーンマネジメント				
総電力使用量に占める再生可能エネルギー源による電力の割合	%	40	39	59
非常用電源強化プロジェクトの進捗状況	-	国内の製造拠点・研究所に予備電源の導入を実施中または検討中	国内の製造拠点・研究所に予備電源の導入を実施中または検討中	国内の製造拠点に予備電源の導入を実施中(富山)。焼津における導入、検証テストは完了(100)
地震多発地域の生産サイトにおける耐震補強工事の進捗率	%	100	100	100
安定供給のための取り組み	-	サプライヤーとの連携強化に向けた各種取り組みを継続して実施	サプライヤーとの連携強化に向けた各種取り組みを継続して実施	サプライヤーとの連携強化に向けた各種取り組みを継続して実施
地政学的課題に関する代替調達の準備の進捗	-	- 一部の製品を除く主要製品の代替リソースのリスク評価および準備を完了 - リスク評価中の一部の製品については、代替リソースの特定を完了 - 新製品である Izervay のリスク評価を開始	XTANDI: 影響のある原材料に対する代替ソースの特定が完了し、当局の承認取得済み。 VEOZAH: 代替ソースの特定が終わり、現在薬事手続き中。 PADCEV: 二つの代替ソースが確定。一つは使用可能な状態。もう一つは、今年度中の完了を見込む。 IZERVAY: 代替リソースのリスク評価が完了し、問題ないことが確認済み。	VEOZAH: 主要な薬事対応用の原材料について、代替ソースの適格性評価が完了。アメリカおよび EU において承認取得済み。その他の国の規制当局への申請および承認取得が進行中。また、別の原材料に関する代替ソースの適格性評価は FY2026 に実施予定。 PADCEV: 二つの原材料（ドラッグリンカーの出発原料）の代替ソースについて、適格性評価が完了。
サステナブル調達				
TPLM ^{*13} プログラムの全グループ会社における統一的な運用の進捗状況	-	全グループ会社および製造拠点に対し、グローバル化された TPLM の運用プロセスを導入完了	- 買収した Iveric Bio および Propella Therapeutics へ TPLM プログラムを導入。 - CSRD^{*14} 要件に基づき、人権リスクの質	- EHS、ABAC、およびデータプライバシーに関するリスクアセスメント質問票の調整を完了し、質問票へ導入済

		問票を更新。 - 新しい商品分類コードと契約依頼時に回答する質問を TPLM プロセスに実装。 - 新しい ABAC^{*15} およびデータセキュリティのデューデリジェンスツールを導入。 - 日々の業務サポートをする TPLM ヘルプデスクサポートモデルを再構築。 - TPRM(Third Party Risk Management)ベンチマーク分析を完了し、リスクテイクアプローチ、教育・研修フレームワーク、そして包括的なサードパーティリスク監視を確立するための、ロードマップとアクションプランを策定。	- ソルベンシー、労働者の権利、EHS リスクドメインを対象とした新たなモニタリングソリューションの導入も進展中。 - TPLM をより包括的かつ全社的なサードパーティリスクマネジメント (TPRM) プログラムへと改善・進化させるための取り組みを開始。 主な成功指標は以下の通り： 1. 全てのサードパーティに対して、新 TPRM の対象内外とするか確認し、リスク（低・中・高）に基づいてセグメント化 2. セグメント化実施後 3 か月以内に、高リスクサードパーティの 100% に対してリスク評価を実施 3.手動作業の 50%削減（ベースラインはアクション数および処理時間に基づき今後設定）およびユーザーエクスペリエンスの 50%向上（ベースラインは社内外インタビュー結果に基づき今後設定） 4.すべてのカテゴリー・国にわたるサードパーティリスクを、重点戦略品と紐づけた上でリアルタイムに可視化 5.現行運用コストの 30%削減およびプラットフォームの合理化 6.実施後 4 か月以内に、重点戦略品に紐づいたサードパーティのリスクプロファイルを確立
サプライヤーエンゲージメント活動へのビジネスパートナー行動規範の組み込み状況	-	・ビジネスパートナー行動規範をアステラスコーポレートサイトに掲載 ・ビジネスパートナ	- 注文書の契約条件にビジネスパートナー行動規範へのアクセス用リンクがない国を特定し修正。 - 社内行動規範の更新に伴い、ビジネスパートナー行動規範の改訂を完了。 - 本規範の翻訳をプロ

	ー行動規範を「アステラスの持続可能な調達宣言」の一つの柱に含めた ・注文書や契約の規約へのビジネスパートナー行動規範の組み込みを実施	- ビジネスパートナー行動規範が広く公開されていることを確認し、取引先登録依頼書にも含まれていることを確認。 - ビジネスパートナー行動規範をビジネスニーズに応じてロシア語に翻訳。 - TPLM プロセスの一環として労働権に関する TPQ(Third Party Questionnaire)内へビジネスパートナー行動規範へのリンクを追加	セスを進行中、完成次第順次公開予定。本改訂では、最新の重要テーマおよび業界基準と整合するよう内容を更新。具体的には、生物多様性に関する新たな記述の追加、気候関連リスク（ハザード）に関するセクションの追加、ならびに利益相反および倫理的コミュニケーションに関する表現の見直しを実施。
小規模・多様なサプライヤーに対する年間支出の米国以外の地域への拡大状況	・米国において小規模事業者に約 1 億 3,000 万ドルの支出を目標とする「2024 US Small Business Plan」が Veterans Affairs(VA, アメリカ合衆国退役軍人省)より承認を受けた ・中小企業データベースの利用を開始し、既存のサプライヤーとの照合を行うとともに、グローバルにビジネスを展開できる潜在的な中小企業の特定に活用	- 米国の VA に対し、年間約 1 億 5,500 万ドルを中小企業への支出を目標とする 2025 年度計画を提出。Minority Supplier Development Council (NMSDC)、National Veteran-Owned Business Association (NaVOBA) や Dun & Bradstreet とのパートナーシップを活用し、実行可能で適格な中小企業の代替案の特定を実施予定。 - 既存のグローバルサプライヤーの支出に対して中小企業データベースを照合し、今後のグローバルな小規模および多様な拠点の可視化を実現するために、マスターデータチームと連携。	- 2025 年度の米国における VA small Business 実績は目標である 10.6%（\$154,121,402）を大きく上回り、13.2%（\$205,414,077）を達成。 - エスタブリッシュドマーケットにおいて関連部門と連携し、サプライヤーダイバーシティの原則を D&I カウンシルメンバーとして組織内に浸透させる取り組みを実施。
アステラス内における「持続可能な調達宣言」の浸透状況	・「アステラスの持続可能な調達宣言」をコーポレートサイトへ掲載 ・グローバルな調達とベンダーマネジメントに関する社内研修の一環として、「アステラスの持続可能な調達宣言」についての研修を実施	- 支出額トップ 350 の取引先（戦略的/優先的取引先を含む）とのサステナブルビジネスパートナーサミットを開催し、アステラスのマネジメントメンバーが弊社コミットメントと、サステナブルな調達宣言に基づいて設定され	- 社内イベントのサステナビリティウィークの一環として、組織全体でポスターセッションを実施し、「サステナブル調達宣言」の主要な項目と長期的な目標を社内のステークホルダーに伝達。 - 2026 年度、当該宣

		た目標を達成するために外部パートナーに期待されることを説明。 社内イベントのサステナビリティウィークの一環として、組織全体でポスターセッションを実施し、「サステナブル調達宣言」の主要な項目と長期的な目標を社内のステークホルダーに伝達。	言の目標および内容の更新を予定。
サプライヤーに取引を発注する際の意思決定プロセスへのサステナビリティ基準の組み込み状況	- ・提案依頼書への ESG 関連の質問及びガイダンスの組み込みを準備 ・サプライヤー選定時に活用できるようサステナビリティ基準の調達手順書への組み込みを実施	- 取引先契約時の ESG に関する文言の組み込みを検討中。 - '従業員に対する継続的なトレーニングを実施。 ビジネスを委託する際にサステナビリティ基準を組み込む重要性について継続的に周知・啓発。	- 従業員に対する継続的なトレーニングを実施。 ・ビジネスを委託する際にサステナビリティ基準を組み込む重要性について継続的に周知・啓発。
戦略的サプライヤーおよび優先サプライヤーに対する SRM^{*17} のガバナンス体系へのサステナビリティの組み込み状況	- ・新しい DaaS モジュール（GHG 削減を包括的に進めるツール）を既存の SRM プラットフォームへ取り込む準備を推進中 ・第 1 期では戦略的サプライヤーおよび優先サプライヤーを対象に働きかけを行う予定	- サステナブルビジネスパートナーサミットの後、アステラスの目標との整合性を確保し、取引先の持続可能性の成熟度を把握し、GHG の一次データの提供を求めるためのアンケートを実施。 - さらに、年間 140 万トン以上の排出量を代表する 350 社以上の主要サプライヤーを評価し、どのサプライヤーが環境目標を設定しているかを確認を完了した - 結果、取引先の 32%が CDP で公表しており、28%が SBT^{*18} 認証を通じて目標を設定またはコミットしていることを確認。	- 昨年度実施した主要な外部ビジネスパートナー上位 350 社を対象とするアンケート結果を基に、各社のサステナビリティ成熟度、およびアステラスのサステナビリティ目標に対する理解度、整合性を可視化。 - 評価結果に基づき、208 社の外部ビジネスパートナーを選定し、Scope 3 の CO₂削減達成に向けた詳細な GHG 一次データ取得に向けたエンゲージメントを開始。結果、128 社のサプライヤーから回答を取得。検証済みの一次データ取得率は 59%となり、年間目標の 30%を大幅に上回り、目標に対して 196%を達成。

*13 TPLM: Third Party Lifecycle Management

*14 CSRD : Corporate Sustainability Reporting Directive

*15 ABAC：Anti-Bribery Anti-Corruption（贈収賄・腐敗行為の防止）。詳細は以下の Web サイトをご覧ください。[倫理・コンプライアンス重点分野](#)

*16 TPRM：Third Party Risk Management

*17 SRM サプライヤー・リレーションシップ・モデル

*18 詳細は以下のウェブサイトをご参照ください

[温室効果ガス排出量削減目標を改定し SBT（Science Based Targets）イニシアチブの承認を取得](#)

製品の品質と安全性のさらなる向上

アステラスは、「品質重視の文化」を醸成し、患者さんのための製品の品質保証と安全性を確保します。

	単位	2023 年度	2024 年度	2025 年度
製品の品質保証				
様々な社内コミュニケーションチャンネルを通じて品質保証の啓発資料を共有する文化の醸成されている	-	CEO を含むトップおよび上級管理職による、品質の重要性に関するメッセージを発信	CEO を含むトップ、上級管理職および関連する主要部門による、品質の重要性に関するメッセージを発信	CEO を含むトップ、上級管理職および関連する主要部門による、品質の重要性に関するメッセージを発信 これにより、品質重視の企業文化醸成に向けた継続的な認識向上、エンゲージメント強化、および組織全体の連携を促進
商用生産施設における品質重視の文化についての評価	-	商用生産施設における品質重視の企業文化についてのスコアカード評価を完了し（高岡、富山、高萩、焼津、ダブリン、ケリー、瀋陽）、24 年度に重点的に取り組むべき目標課題を特定	品質重視の企業文化の共通アンケート設計を完了し、2025 年度に取り組む課題を特定	品質重視の企業文化および関連指標を評価するため、品質および製造機能で共通の単一アンケートフレームワークを作成。導入計画を策定中。
コミュニケーションプラットフォームでリーン・シックス・シグマ(Lean Six Sigma) ^{*19} の資料とツールが共有されている	-	・リーン・シックス・シグマ実践コミュニティが 48 か国より 970 名が参加するまでに成長 ・約 100 名のアステラス社員が Lean Six Sigma 認定を取得 ・品質と効率の継続的な改善の実例を共有するライブ・セッションを 9 回実施	フィードバックに基づきリーン シックスシグマ ホワイトベルトコースを強化し、アジャイルな業務の進め方に関する資料を追加。 - 従業員を対象としたリーン シックスシグマとアジャイルの考え方およびツールキットの類似点について話し合うライブ セッションを 2 回実施した。 - 約 120 名の社員がリーン・シックス・シグマ認定を取得。	300 名以上の社員がリーン・シックス・シグマ認定を取得（ホワイト、イエロー、グリーン、ブラックベルトを含む複数レベル）。Lean & Operational Excellence 実践！コミュニティの活動によって、集中管理されたツールおよび資料に容易にアクセス可能な状態を実現。

*19 リーン・シックスシグマ：品質保証文化を醸成するために、社内において最大限に業務を効率化し、ホワイトスペース（新しいアイデアを模索するために必要なリソース）を創出し、コストを削減するためのアプローチ

パリ協定と整合性のある温室効果ガス排出削減の達成

アステラスは、パリ協定と整合性のある温室効果ガス排出目標を定め、SBT 認証を取得しています。これらに沿って 2025 年度までに適正な量の温室効果ガス削減目標の達成を目指します。

[2030 年度までの温室効果ガス排出量削減目標] *20

スコープ 1+2

63%削減（基準年：2015 年度）

スコープ 3

37.5%削減（基準年：2015 年度）

	単位	2023 年度	2024 年度	2025 年度
温室効果ガス排出削減率（スコープ 1+2）	%	39.8	46	60
温室効果ガス排出削減率（スコープ 3）	%	18.7	7	19
エネルギー使用量	MWh	558,039	494,739	450,265
再生可能エネルギー由来の電力の割合	%	40	49	59
水資源生産性（WRP）	（十億円／千 m ³ ）	0.25	0.28	0.34
売上収益当たりの廃棄物発生量	（トン／十億円）	8.1	6	5.3
生物多様性指数	-	4.9	6.7	8.7
営業車に占める低排出ガス車の割合	%	59	60	64
TPLM プログラムを通じて評価される CMO*20 の数	件	25	20	

*20 詳細は以下のウェブサイトをご参照ください

[ESG データ 環境 | アステラス製薬](#)

*21 CMO: Contracted Manufacturing Organizations